

4月14日 親子で農業体験！
わたがし野菜あまーい

町耕作放棄地解消対策協議会とJAおきなわ西原支店青壮年部による親子農業体験が、宇津花波の畑で行われました。親子7組20名が参加し、昨年11月に植え付けした玉ねぎ、じゃがいも、とうもろこしを収穫しました。採れたてのとうもろこしは、生でもおいしく食べられるため、子どもたちから「あまーい」、「ジューズみたい」との声が上がりました。JAおきなわ西原支店女性部から新鮮野菜で作ったカレーの差し入れがあり、子どもたちは嬉しそうに頬張っていました。



4月15日 「ウーヅ作り」
ウーヅ作りで快挙！

国内トップ選手が集うジャパニーズバレーボールツアー2018の開幕戦が西原きらきらビーチで開催されました。沖縄での本大会開催は初で、会場には多くのビーチバレーファンが来場しました。強風をもともせずレベルの高い熱戦が繰り広げられ、観客を大いに沸かせました。男女優勝ペアには上間町長より特産品詰合せが贈られました。



4月19日 ウーヅ作りで快挙！
2度目の受賞

第43回沖縄県とうきび競争会表彰式において、小波津祐光さん（字小波津）が沖縄県糖業振興協会理事長賞を受賞しました。小波津さんは2年前の同表彰式において、農林水産省政策統括官賞を受賞しており、今回は糖業に対する意欲と地域の優良品種普及拡大などの地域貢献度が評価されました。



写真(右)小波津さん

小波津さんは「良いウーヅを育てる為には、良い土を作ることが大切で、苗を植える1ヶ月前から土作りをしている。作り方のコツを他の農家とも情報を共有しながらより良いウーヅ作りを目指したい」と語りました。

4月22日 きらきらビーチ
で海開き

マリネリジャーシーズンの到来を告げる西原きらきらビーチの海開きイベントが、フリード西原マリンパークで開催されました。当日はあいにくの天気でしたが、坂田小学校音楽部・柵原ミルク太鼓・ダンススタジオAIR HEADS・西原みらい友好会が会場を盛り上げました。同ビーチは年間85万人以上の来場者が訪れる人気ビーチであり、指定管理者フリード西原の玉城芳信社長より「今年も沖縄一安心なビーチ目指して、事故がないよう気を引き締めたい」との挨拶がありました。



4月25日 11のぼり掲揚式
子どもの笑顔は地域の宝

子どもの健やかな成長を願って、第11回手づくり11のぼり掲揚式（西原町社会福祉協議会主催、大城幸哉会長）が町電設会の協力を得て中央公民館駐車場で行われました。同式には町内7園の園児が参加しました。さうんど保育園の代表園児が力を合わせて大きな11のぼりを掲げた後、全園児で元気一杯さわりんダンスを踊りました。会場周辺には園児らが作ったたくさんの方のカラフルな11のぼりが天高く泳いでおり、園児はキラキラした瞳でその姿を見つめていました。



4月28日

うたと美酒に酔いしれる
「梅の香り」

字小那覇出身の作曲家、新川嘉徳氏の代表作「梅の香り」を歌い継ぐ「第15回 梅の香りうた遊び大会（主催「梅の香り」うた遊び大会実行委員会・小那覇自治会）」が、小那覇児童公園で2年ぶりに開催されました。今大会には県内外より17組の歌い手が参加し、「梅の香り」の歌碑の前で思いを込めて歌い上げました。



前列左から4番目：枝川 あさひ さん



審査の結果、南風原町出身の枝川あさひさんが大賞を受賞しました。春風吹く会場内では小那覇児童公園で収穫された梅を使った梅酒と梅酢が振る舞われ、つめかけた多くの来場者は琉歌と三線の趣ある世界に浸っていました。

5月1日

無事に
カエってきこね

西原町内の3児童館で活動するファミリークラブ会員の母親たちが、町立4小学校の新生の児童のために手作りのお守り（388個）をプレゼントしました。お守りは子どもたちの健全育成と交通安全を祈願したもので、子どもたちが「無事にうちへ帰ってくる」ことを願って、カエルのイラストがデザインされています。
※ファミリークラブは「町の子はみんなわが子」を合言葉に、児童館を拠点として、子どもたちの健全育成を目指して活動しています。



プレゼントの様子(西小)



ファミリークラブ

文化財コラム
沖繩戦を伝えるもの

西原町では六月を平和月間とし、今年度も「平和の約束」の上演など様々な事業に取り組んでいます。戦後七三年が経過した今、平和の尊さ、戦争の悲惨さを過去のものとして風化させぬよう、後世に伝えていかなければなりません。
去る沖縄戦において激戦地となった本町では、約五六〇名(当時の住民の約四七%)もの尊い命が犠牲となりました。当時を知る資料の一つとして西原町中央公民館敷地内に、沖縄戦で日本軍が使用した大砲、九六式一五榴榴弾砲が展示されています。これは、平成一六年に字幸地の日本軍陣地壕跡(開発工事に伴い消滅)から発見されたもので、日本国内で現存するものとしては、数少ない貴重な資料です。

この平和月間を機に町内の戦争遺跡などに足を運び、平和の尊さ、戦争の悲惨さというものを改めて見つめなおしてみたいかがでしょう。



九六式十五榴榴弾砲
(西原町中央公民館敷地内)

お問い合わせ
教育部 文化課 文化財係 ☎九四四・四九九八